

WCM2012報告

2012年 10月29日
テンプス 松本

10月13日にアイルランド・ダブリンで開催されましたWCMにつきまして報告します。

- * 日程 10月12日・19時よりウェルカムレセプション HowthYCにて
10月13日・9時 WCM HYC 19時 Dinner HYC
- * 出席 会長(元)アメリカ (新)アイルランド アメリカ、カナダ、メキシコ、ドイツ、モナコ
スウェーデン、イギリス、アイルランド、イタリア、フランス 計測
協会 財務、事務
- * 概略 今回のWCMでは、ルール改正審議(12項目)が中心で世界での動きと会長の
考え方も聞くことができ大変に有意義でした。
ルール改正はISAFとJボートの承認が必要なので正式には2013年3月にならないと
発効しませんが、現時点での決定内容は博多総会で案内した内容に。

>会長の考え ①規模に合った協会活動

現状は500万円ほどの収入で右肩下がりが継続している。
その範囲内での活動に収めざるを得ない。
(財務内容も潤沢ではないので当然の選択ではあるが)

今年度から事務を外部委託化しており、収入の半分ほどを使い
雇用形態から変更。社会保障経費などがなくなり費用が削減
できたそうです。受託しているクリストファー氏はJ22とJ108
協会の業務も兼務し3協会分の委託費で生計。

②ルールは常に見直す

ルールの適正化がJ24の生命線で、常に見直しをしていく。
時代に合わないルールを放置しない。

アメリカは保守的で、昔のルールに固執するところがあるが、欧州は
ルール変更躊躇するところはない。合理的と言えれば合理的。

③プロモーションはする

右肩下がりながら、それを甘受せず何かの仕掛けはしていきたい。
基本的には世界選手権を「北米」「欧州」「北米」「欧州」「その他」の
ローテーションで回し、ワールドによって活性化を図るのが基本。

しかし、各地の負担も大きく開催での活性化が実現せずに疲弊して
いる現状。

- * 世界選手権 2013年・アイルランド・ダブリン HYC
2014年・アメリカ・ニューポート
2015年・ドイツ Weißer Wiek, Boltenhagen, Germany キールの近く
2016年 未定 今回、提案議論なし。

>会長の考え 世界選手権の充実必須。しかし、現状は各地の負担が大きくなって大変だと
認識。スポンサーの確保・クラブの協力がないと開催は不可能。
隔年での開催になることも視野にいれるべきかも?! (非公式コメント)
日本での開催は、全体のメリットになりにくいのでは?の質問をしたところ・・・
「5年に一度くらいの頻度であれば、それは構わない」「そこでの火が消えてしま
うことの方が困る」と日本での開催を支持してくれそうな感触。(アジアパシフィックでの)
今年の新艇建造結果は、アメリカでの数艇のみでイタリア・アルゼンチンはゼロ。
日本開催で数艇の新艇が作られれば十分の貢献になる。

- * ルール補足 2枚スピンは僅差で却下

>会長の考え 単に、予備があればレガッタを台無しにすることが無くなるから・・・のこと。
スペシャルを作り、使い分けることは想定せず。車のトランクに入れて持ってきたスピンを
積んでおけば良いじゃない!と。

感想・・・今回、久々にWCMIに出席しましたが基本線は昔とは変わっていませんでした。しかし、各国共に
活動が縮小していて若年層からの進出も少なく悩みは同じ。
会長が掲げる3つの項目を着実に実行することにしか活動の方向性が見いだせないと同感しました。

2021年に日本での開催を話しましたが、「そんな先の話し・・・」「2016は?」が現場での空気。

40艇規模(韓国・SIN・豪州)(米欧ほか)、4艇以上の新艇、北半球の春から秋まで が最低条件か・・・
(大体、3000万円くらいのスポンサー資金でワールドは開催しているようです) 以上

2012WCM ルール変更動議結果

2012年10月17日

テンプス松本

* 3. 2. 5	2本ライフラインの禁止	可決	
* 3. 5. 2c	マストヒールの固定、マストホールの固定 (ピンかネジで止める)	可決	
* 3. 5. 3f	スプレダーの振り角	可決	
* 3. 5. 4 62. 3. 1	ランニングリギンの直径制限廃止 (最低何ミリの規定廃止)	可決	
* 3. 5. 5d	ブーム最低重量変更	否決	現状維持
* 3. 6. 1 8. 1. 1	2枚スピン	否決	現状維持
* 4. 1. 9 4. 1. 10	エンジン規定、残燃料 (最低重量・hp 残燃料 削除)	可決	
* 6. 1. 14	ツイーカー規定	可決	
* 6. 1. 22	点検口	可決	
* 6. 1. 30	マストヒールアジャスター (レース中は外す)	可決	
* 7. 1. 19	ショックコードの使用 (バックステイのバンジー可能に)	修正可決	
計測証明書の仕様	数字を書き込まなくなる項目増 (計測にパスかフェイルか？に簡略化)	可決	

>>> 実際の影響

- ・マストヒールをバイスグリップで止めているのは禁止
- ・マストヒールアジャスター(前後移動)の器具をレース中は外す
- ・2HPのエンジンでもOK、2リッターの残燃料規定廃止(帰れるだけの燃料は必要)
- ・電動エンジンも可能
- ・バックステイを上向きに引っ張るショックコードOK
- ・計測証明書を見ても、チューニング精度は分かりにく(計測は楽に)

>>> 注意

WCMでの審議結果であって、JボートやISAFの承認が必要。
(この速報からの、即変更はお勧めしません)

以上